

UNITT Annual Conference 2015

September 4-5, 2015

TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

日時 : 2015年 9月 4日(金) セミナー 10:00~17:30, 意見交換会 18:00~
9月 5日(土) セミナー 10:00~15:15

場所 : 東京理科大学 葛飾キャンパス

図書館ホール、講義棟 102、201、202、203、303 教室
(〒125-8585 東京都葛飾区新宿 6-3-1)

UNITT アニュアル・カンファレンスは、全国の産学連携関係者が集まって、大学・TLO や公的研究機関の技術移転における諸課題について討議をします。講師によるプレゼンだけでなく、会場も加わった双方向の議論をします。第1回の産学連携実務者ネットワークから数えて今回が第12回目を迎えます。

2日間で大学の産学連携の諸課題が俯瞰できるプログラムとなっています。また産学連携事業に興味をお持ちの企業の方に役立つ情報が数多くありますので、大学・TLO ばかりでなく企業の方々もご参加するようお勧めします。

セミナー会費 : 一般 20,000 円 (当日お申込み: 22,000 円)、学生 2,000 円 (当日お申込み: 同額)
※大学技術移転協議会の会員無料招待・割引、紹介企業優待等あります。

意見交換会費 : 3,000 円 (当日お申込み: 同額、セミナー会費とは別に必要です)

7月21日受付開始

主催 : 一般社団法人 大学技術移転協議会

共催 : 東京理科大学 研究戦略・産学連携センター

協賛 : 日本弁護士連合会、弁護士知財ネット、日本弁理士会

スポンサー:スポンサーにはゴールド、シルバー、ブロンズの3つのランクがあります。紹介・宣伝文のテキスト掲載や会場でのパンフレット等掲示やスポンサーセッションでのプレゼンが出来ます。

プログラム 9月4日(金)

9月4日(金)

(M): モデレータ、(S): スピーカー、(C): コメンテータ、(P): 司会

9:00	受付開始				
10:00-11:00	オープニングリマーク				
11:15-12:00	[全体セッション] 産学連携評価指標 (S)宮本岩男(経済産業省)				
12:00-13:00	昼食				
13:00-15:00	A1 特許法改正に伴い大学はどうなる? (M) 伊藤伸(東京農工大学) (S) 中野剛志(特許庁) (S) 間脇八蔵(東北大学) (S) 飯田香緒里(東京医科歯科大学)	B1 これからの海外出願はどうする? JSTの外国支援制度が変わってどうなる大学 (M) 是成幸子(東京理科大学) (S) 沖代美保(科学技術振興機構) (S) 藤澤幸夫(大阪大学) (S) 盛満正嗣(同志社大学)	C1 大学におけるシーズ育成とPOC (Proof-of-Concept)ファンドの活用〜リスクが大きく時間もかかるがポテンシャルの高い科学技術をいかにして技術移転・事業化に導くか? (M) 加藤 浩介, RTTP(大阪大学) (S) 大津賀 Denny, RTTP(EnConnect) (S) 松尾千里(京都大学)	D1 ケースメソッドによるマネジメントトレーニング *参加者は協議会HPから事前資料ダウンロード* (M) 高田仁RTTP(九州大学) (S) 米田洋恵(金沢大学) (S) 目片強司(金沢大学)	E1 共同研究基礎講座 (M) 小川隆(九州大学) (S) 加藤幹(産業技術総合研究所)
15:00-15:30	コーヒー・ブレイク				
15:30-17:30	A2 ライセンスに熱心な会社大集合 こんな技術を探しています (M) 坂井貴行(徳島大学)	B2 国の研究開発プロジェクト・コンソの知財マネジメント (M) 高橋真木子(金沢工業大学) (S) 藤河正英(経済産業省) (S) 正城敏博(大阪大学) (S) 鈴木俊吾(NEDO)	C2 スポンサーセッション (M) 山本貴史RTTP(東大TLO) ・Wellspring ・THOMSON REUTERS ・株式会社フェリシモ ・日本弁理士協会	D2 ベンチャーを通じた大学技術実用化の実際 (M) 若林拓朗(先端科学技術エンタープライズ㈱) (S) 郷治 友孝(㈱東京大学エッジキャピタル) (S) 後藤 勝也(AZX Professionals Group)	E2 特許基礎講座(日本弁理士会協賛セッション) (M) 上條由紀子(金沢工業大学) (S) 小林寛和(酒井国際特許事務所) (S) 矢口太郎(恵泉国際特許事務所)
18:00-20:00	意見交換会				

(セッション概要)

[全体セッション] 産学連携評価指標

- A1 特許法改正に伴い大学はどうなる? ・特許法が改正され、職務発明制度が見直される。事前の定めがあれば、従業員の発明に関する特許を受ける権利は、発生時からの法人帰属が可能になる。この改正が大学の知的財産マネジメントに与える影響を議論する。
- B1 これからの海外出願はどうする? JST の外国支援制度が変わってどうなる大学 ・大学等は、研究成果を国際的に活用・普及促進するために、世界的に特許を取得し活用することが望まれるが、多大な費用が必要となるため、海外での特許取得を断念するケースが少なくない。大学が外国特許を取得し維持するには、JST の支援が非常に重要であるが、支援を受けることが非常に厳しくなった現状で、大学はどのように、国際連携等を促進していけばよいのか、について事例紹介とともに情報交換をしたい
- C1 大学におけるシーズ育成と POC (Proof-of-Concept)ファンドの活用〜リスクが大きく時間もかかるがポテンシャルの高い科学技術をいかにして技術移転・事業化に導くか? ・米国において、研究と事業を結びつける POC (Proof-of-Concept)プログラムを企画・運用してきた EnConnect 社長の 大津賀氏、本年から新たに大学独自の POC プログラムを開始する京都大学の松尾氏らを招き、効果的なシーズ育成と POC ファンドの活用法について議論する。
- D1 ケースメソッドによるマネジメントトレーニング ・産学連携にまつわる実例ケースを用い、多角的なディスカッションを通じて分析力や判断力を養うトレーニングを体験するとともに、ケース作成のポイントを学ぶ。
- E1 共同研究基礎講座 ・今年で8年目になる“基礎”講座です。共同研究契約について分かりやすく説明します。産学連携関係の経験が浅い方向けの講座です。
- A2 ライセンスに熱心な会社大集合 こんな技術を探しています ・
- B2 国の研究開発プロジェクト・コンソの知財マネジメント ・国の研究開発 Prjの知財マネジメントの在り方のガイドラインが策定される。大学、企業、FA 等の関係者が議論の基盤を共有し最適なルールを策定していくため、UNITT ならではの実務経験をふまえた議論の場としたい。
- C2 スポンサーセッション ・
- D2 ベンチャーを通じた大学技術実用化の実際 ・「ベンチャー企業による技術移転」が定着しつつあります。ベンチャーは個性が高いですが、技術移転機関等の関係者が一定の共通理解を持つことは重要です。具体事例を基に、成功するベンチャーについて議論します。
- E2 特許基礎講座 ・産学連携・技術移転の現場に必要な知的財産(主として特許)に関する法律知識、知財の創造・保護・活用のマネジメントにおける留意点など、実務で役に立つトピックについて、最近の改正点なども交えて解説する。体系的に基礎から学びたい方は是非ご参加下さい。

プログラム 9月5日(土)

9月5日(土)

10:00-12:00	A3 アカデミアと企業の双方から見た 製品化成功事例 (M) 本多聡(東大TLO) (S) 青木芳夫(物質・材料研究機構) (S) 矢部充男(株式会社小松製作所) (S) 船越拓(和光純薬工業株式会社)	B3 企業と大学の共同研究は産業界に寄与したのか? (M) 正城敏博(大阪大学) (S) 塩谷克彦(東北大学) (S) 久保浩三(奈良先端大学院大学)	C3 医療イノベーション・医療機器産業を活性化する産学連携 (M) 内田毅彦(日本医療機器開発機構) (S) 日色保(ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)) (S) 鎌本 忠尚(㈱ヘリオス)	D3 ソフトウェア、プログラム著作物の技術移転～最近の傾向と課題～ (M) 原田隆(東京工業大学) (S) 三尾三枝子(キューブM総合法律事務所・弁護士) (S) 本間高弘(電気通信大学)	E3 大学発ベンチャー支援基礎講座 (M) 菅原岳人(東京大学) (S) 廣川克也(慶應義塾大学) (S) 坂本剛(QBキャピタル合同会社)	F3 営業秘密の保護—大学では (M) 末吉互(潮見坂総合法律事務所) (S) 阿久津匡美(経済産業省) (S) 足立昌聰(ジョーンズデイ法律事務所)
12:00-13:00	昼食(*RTTP申請書の書き方講習会を実施します)					
13:00-15:00	A4 大学知財は何を管理すべきか (M) 塩谷克彦(東北大学) (S) 松任谷優子(大野総合法律事務所) (S) 阿部豊隆(TMI総合法律事務所)	B4 若手が担う技術移転、産学連携、ベンチャー起業支援! (M) 羽島賢一(慶應義塾大学) (S) 藤ヶ崎諒平(関西TLO) (S) 小村純子(東大TLO) (S) 川人よし恵(大阪大学)	C4 地方創生における産学連携の役割 (M) 勝川裕幸(豊橋技術科学大学) (S) 狩野幹人(三重大学) (S) 森倉晋(電気通信大学) (S) 嘉屋元博(帯広畜産大学)	D4 海外からの遺伝資源に対する大学における対応 (M) 鈴木睦昭(国立遺伝学研究所) (S) 山本昭夫(農林水産省) (S) 阿部紀里子(首都大学東京)	E4 ライセンス基礎講座 (M) 大西晋嗣RTTP(関西TLO) (S) 矢野慎一(四国TLO) (S) 眞浦麻里子(九州大学)	F4 SIG1世界の国際認定・技術移転プロフェッショナル(RTTP)はどのような仕事をしているのか? (P) 加藤 浩介, RTTP(大阪大学) (S) 高橋 真木子(金沢工業大学) (S) 大津賀 Denny, RTTP(EnConnect)
15:00-15:15	クロージング・リマーク					

(セッション概要)

- A3 アカデミアと企業の双方から見た 製品化成功事例・産学の双方の視点から製品化成功事例(LED 蛍光体材料・建設 機器熱交換器・キナーゼ測定キット)を見つめ、成功要因は何か、どのように課題を克服したのか、産学の認識の違いは何かを考える。
- B3 企業と大学の共同研究は産業界に寄与したのか?・共同研究の件数・金額・平均額だけでなく、可能な限り客観的データを元に、実務担当の立場から「共同研究の様々な成果」を議論します。みなさん、各大学・TLOのデータを見直した上で、参加しませんか!
- C3 医療イノベーション・医療機器産業を活性化する産学連携・輸入超過が続く日本の医療機器産業の活性化のために、医療ニーズや医学シーズに基づく産学連携において必要なグローバルな視点、ビジネスとして成功するための戦略やポイントについて具体的な成功事例を紹介しします。
- D3 ソフトウェア、プログラム著作物の技術移転～最近の傾向と課題～・ソフトウェアやプログラム著作物のオープン化という最近の傾向をふまえ、今後のソフトウェアに関する技術移転、成果の活用方法について明らかにしたい。
- E3 大学発ベンチャー支援基礎講座・本講座では、「大学発ベンチャー」支援の実務者を対象として、具体的に整備すべき支援機能や体制について事例紹介と議論を行う。
- F3 営業秘密の保護—大学では・現在、営業秘密をめぐる現状、27年改正などを踏まえ、営業秘密の保護は、中小企業や大学における保護に大きくシフトするとともに、刑事告訴をも視野に入れたものになっています。これを反映して、弁護士知財ネットでは、全国の中小企業支援窓口で常駐弁護士を配置し、営業秘密を含めた支援強化を今年2月から既に開始致しております。この際、大学、TLO関係者の方々との情報交換をさせて頂きたい、
- A4 大学知財は何を管理すべきか・大学特許は増えたが知財総収入は米国一機関にも及ばない。知財予算削減の中、この状況を打破する画期的な管理手法はあるのか。大学知財はイノベーション創出にどうかかわるかを討論する。
- B4 若手が担う技術移転、産学連携、ベンチャー起業支援!・新しいことにチャレンジし、リスクを取らなければイノベーションは起きない。そのリスクを取らない人達を動かし、組織を繋ぐ若手人材とは?情熱か、パワーか、経験か?
- C4 地方創生における産学連携の役割・『地方創生』が政策課題として上げられている今日、地方大学、首都圏の大学の取組み事例から、地方の産業活性化のための産学連携のキープポイント、大学に求められる役割を改めて考えてみる。
- D4 海外からの遺伝資源に対する大学における対応・1993年に発効した生物多様性条約では、海外遺伝資源のアクセスと利益配分が決められている。提供国の法令・規制に遵守し、事前同意が取られていることなどの監視の義務が規定された名古屋議定書に関しても、対応の必要性がある。また、最近では、イネ・コムギなどを対象とする食料・農業植物遺伝資源条約が日本においても効力を開始した。このような状況で、大学においても、海外から大学に入ってくる遺伝資源に関して、対応が必要であり、今回、その方法について討論を行う。
- E4 ライセンス基礎講座・技術移転活動の基礎的なことをご紹介&振り返るセッションです。実務紹介だけでなく、ライセンス活動を始める際の心がけや仕事のモチベーションをどこに置かなど、実務に直結する議論を深めていきます。
- F4 SIG1世界の国際認定・技術移転プロフェッショナル(RTTP)はどのような仕事をしているのか?・米国で10年以上にわたり大学技術移転の実務・経営を行ってきた実績を有するEnConnect社長の天津賀RTTPを招へいし、同氏のケーススタディーを教材として、技術移転のプロとして成長するためのキープポイントについて議論する。

アクセス

東京理科大学 葛飾キャンパス

〒125-8585 東京都葛飾区新宿 6-3-1 TEL:03-5876-1717(代)

アクセスマップ: <http://www.tus.ac.jp/info/access/katcamp.html>

■JR 常磐線(東京メトロ千代田線)「金町」駅／京成金町線「京成金町」駅下車、徒歩 8 分

東京駅	JR山手線 約17分	西日暮里駅	東京メトロ千代田線:JR常磐線直通 約16分	金町駅		
新宿駅	JR山手線 約24分	西日暮里駅	東京メトロ千代田線:JR常磐線直通 約16分	金町駅		
千葉駅	JR総武線 約30分	西船橋駅	JR武蔵野線 約25分	新松戸駅	JR常磐線 約15分	金町駅
横浜駅	JR東海道線 約32分	東京駅	JR山手線 約17分	西日暮里駅	東京メトロ千代田線:JR常磐線直通 約16分	金町駅



東京理科大学について

東京理科大学は、明治14(1881)年に「東京物理学講習所」として創立されました(2年後に東京物理学校と改称)。「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」との建学の精神のもと、東京物理学校で教育を受けた多くの卒業生が、明治・大正期の中等学校や師範学校の教壇に立ち、理学の普及に大きな役割を果たしました。皆さんご存知の夏目漱石の小説「坊っちゃん」の主人公も東京物理学校を卒業した数学の先生です。昭和24(1949)年に新制大学の発足とともに東京理科大学に改組されて、多くの学部が次々に設置され、今日では8学部33学科、11研究科31専攻を擁するわが国私学随一の理工系総合大学に発展しています。また、平成26年度には、研究支援を一層強化するため、承認TLO「科学技術交流センター」を「研究戦略・産学連携センター」に発展的に改組し、研究活動の支援・産学連携活動を展開中です。

お申込み方法

1. お申込方法

大学技術移転協議会ホームページ <http://www.unitt.jp> にて受付中。

2. お問合せ先

大学技術移転協議会 事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目6番2号 第2秋山ビル6階

TEL:03-5402-1857 FAX:03-5402-1859

E-mail: contact@unitt.jp